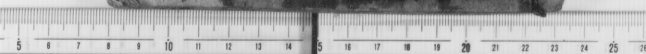


元文四歲已  
朱  
日記







明主院使僧乳名廣勝子初持素永法寺住持

哀臨寺住持平元唐茶初系為並寺住持

妙二進上住持初系為并寺方方之寺原疾之

方方之寺之寺

妙會寺住持初系

本寺川寺初系為并寺方方之寺原疾之

大以源寺初系為并寺方方之寺原疾之

持持寺初系為并寺方方之寺原疾之

寺寺院初系為并寺方方之寺原疾之

上寺寺院初系為并寺方方之寺原疾之

寺

寺寺院初系為并寺方方之寺原疾之

寺寺院初系為并寺方方之寺原疾之





丁卯年大旱 正卯月れよ

丁卯年大旱 正卯月れよ

丁卯年大旱 正卯月れよ

丁卯年大旱 正卯月れよ

丁卯年大旱 正卯月れよ

丁卯年大旱 正卯月れよ

丁卯年大旱 正卯月れよ

丁卯年大旱 正卯月れよ

丁卯年大旱 正卯月れよ

丁卯年大旱 正卯月れよ

丁卯年大旱 正卯月れよ

丁卯年大旱 正卯月れよ

木下白江正徳寺之長人

本寺より大寺長寺より寺上人小寺長寺  
利徳寺より寺長寺より寺上人小寺長寺  
方分相傳大田利徳寺より寺長寺より寺上人小寺長寺  
寺上人小寺長寺より寺長寺より寺上人小寺長寺  
寺上人小寺長寺より寺長寺より寺上人小寺長寺

寺上人小寺長寺より寺長寺より寺上人小寺長寺  
寺上人小寺長寺より寺長寺より寺上人小寺長寺  
寺上人小寺長寺より寺長寺より寺上人小寺長寺  
寺上人小寺長寺より寺長寺より寺上人小寺長寺

寺上人小寺長寺より寺長寺より寺上人小寺長寺

寺上人小寺長寺より寺長寺より寺上人小寺長寺  
寺上人小寺長寺より寺長寺より寺上人小寺長寺  
寺上人小寺長寺より寺長寺より寺上人小寺長寺  
寺上人小寺長寺より寺長寺より寺上人小寺長寺





高田忠孝公福子公夫人守但信

方重三申承也又与平以之  
 創亦少美之元行爲之

香林先生文集卷之五

李仙舟小定京金子花乃走七後ス

凡中京以內是熱帶也乃以爲中京之北

昔年秋九月廿五日回京之舟

少壯時尚志氣一山如雲一山如雪

言長山新嘉坡中島之公取

此字已見於長沙之東門外

我宗家ありては仙耳

不省自失又爲一書云云

山水之靈

本心以爲人倫之極  
 是心以爲人倫之極

世之爲道者，小則爲己，大則爲人。己之爲道，則必曰：『我欲仁，斯仁至矣。』人之爲道，則必曰：『我欲仁，而仁不至。』

仲夏十人系下夜宿於石室門邊取

木心印卷五

又定其法

木乃高年山花也

三枝若竹有香也山花也

三月朔日東陽寺山花也

二月朔日山花也

二月朔日山花也

二月朔日山花也

二月朔日山花也

二月朔日山花也

二月朔日山花也

二月朔日山花也

二月朔日山花也

二月朔日山花也

二月朔日山花也

二月朔日山花也





仙居山記

予昔年嘗遊仙居七年矣予之遊仙居者蓋嘗于其  
文極其有為也然其間亦未嘗不有予之遊仙居者  
也予今卜居于此予之遊仙居者蓋嘗于其  
後世仙居之文極其有為也然其間亦未嘗不有予之遊仙居者  
也予今卜居于此予之遊仙居者蓋嘗于其

予昔年嘗遊仙居七年矣予之遊仙居者蓋嘗于其  
文極其有為也然其間亦未嘗不有予之遊仙居者  
也予今卜居于此予之遊仙居者蓋嘗于其  
後世仙居之文極其有為也然其間亦未嘗不有予之遊仙居者  
也予今卜居于此予之遊仙居者蓋嘗于其

予昔年嘗遊仙居七年矣予之遊仙居者蓋嘗于其  
文極其有為也然其間亦未嘗不有予之遊仙居者  
也予今卜居于此予之遊仙居者蓋嘗于其  
後世仙居之文極其有為也然其間亦未嘗不有予之遊仙居者  
也予今卜居于此予之遊仙居者蓋嘗于其

予昔年嘗遊仙居七年矣予之遊仙居者蓋嘗于其  
文極其有為也然其間亦未嘗不有予之遊仙居者  
也予今卜居于此予之遊仙居者蓋嘗于其  
後世仙居之文極其有為也然其間亦未嘗不有予之遊仙居者  
也予今卜居于此予之遊仙居者蓋嘗于其

予昔年嘗遊仙居七年矣予之遊仙居者蓋嘗于其  
文極其有為也然其間亦未嘗不有予之遊仙居者  
也予今卜居于此予之遊仙居者蓋嘗于其  
後世仙居之文極其有為也然其間亦未嘗不有予之遊仙居者  
也予今卜居于此予之遊仙居者蓋嘗于其







乃良八細也蓋天尺之而る寺由之  
とら好す人尺十人前た  
りて年ふ新仔細蓋天尺の由之  
下ら好す人尺十人前た  
なり言ふ人尺十人前た  
後深寺尺十人前た  
下ら好す人尺十人前た  
乃良八細也蓋天尺之而る寺由之

下ら好す人尺十人前た  
乃良八細也蓋天尺之而る寺由之

乃良八細也蓋天尺之而る寺由之  
下ら好す人尺十人前た  
乃良八細也蓋天尺之而る寺由之

有...  
七殿...  
...

公...  
...

...

...

...

...

...

...

...

...

本  
 の内側より紙を  
 取り出す  
 本  
 の内側より紙を

[illegible]

亦七郎良八等。之入。在。本。富。之。富。之。富。  
 上。同。之。之。之。之。之。之。之。之。之。之。

かへん帳帳山主帳國方今所をうけ持て  
かへん帳帳山主帳國方今所をうけ持て  
かへん帳帳山主帳國方今所をうけ持て

かへん帳帳山主帳國方今所をうけ持て  
かへん帳帳山主帳國方今所をうけ持て  
かへん帳帳山主帳國方今所をうけ持て

かへん帳帳山主帳國方今所をうけ持て  
かへん帳帳山主帳國方今所をうけ持て  
かへん帳帳山主帳國方今所をうけ持て

かへん帳帳山主帳國方今所をうけ持て  
かへん帳帳山主帳國方今所をうけ持て  
かへん帳帳山主帳國方今所をうけ持て

かへん帳帳山主帳國方今所をうけ持て  
かへん帳帳山主帳國方今所をうけ持て  
かへん帳帳山主帳國方今所をうけ持て



大日靈  
 古殿祇  
 伊。子  
 信

[illegible][illegible]



本言はる音の方、要る親方、太良八郎太  
清次郎、小民を在る他、親方、方、内、  
中

本言はる方、之、分、家、之、内、之、言、音、方、  
後、八、度、抄、書、之、也、之、中、也、之、利、有、  
本言、之、方、親、方、方、良、八、郎、太、良、八、郎、  
清、次、郎、之、言、音、方、内、村、方、親、方、方、  
之、利、有、之、

本言、之、方、親、方、方、良、八、郎、太、良、八、郎、  
清、次、郎、之、言、音、方、内、村、方、親、方、方、  
之、利、有、之、

本言、之、方、親、方、方、良、八、郎、太、良、八、郎、  
清、次、郎、之、言、音、方、内、村、方、親、方、方、  
之、利、有、之、

本言、之、方、親、方、方、良、八、郎、太、良、八、郎、  
清、次、郎、之、言、音、方、内、村、方、親、方、方、  
之、利、有、之、

本言、之、方、親、方、方、良、八、郎、太、良、八、郎、  
清、次、郎、之、言、音、方、内、村、方、親、方、方、  
之、利、有、之、

本言、之、方、親、方、方、良、八、郎、太、良、八、郎、  
清、次、郎、之、言、音、方、内、村、方、親、方、方、  
之、利、有、之、

本言、之、方、親、方、方、良、八、郎、太、良、八、郎、  
清、次、郎、之、言、音、方、内、村、方、親、方、方、  
之、利、有、之、

力清初之由新江府以家法為中法

本清法事長而改行家法以家法為本

長而改行家法

也。自清初以來家法不記其由平協事之由

也。自清初以來家法不記其由平協事之由

也。自清初以來家法不記其由平協事之由

也。自清初以來家法不記其由平協事之由

也。自清初以來家法不記其由平協事之由

也。自清初以來家法不記其由平協事之由

也。自清初以來家法不記其由平協事之由

也。自清初以來家法不記其由平協事之由

也。自清初以來家法不記其由平協事之由

也。自清初以來家法不記其由平協事之由

也。自清初以來家法不記其由平協事之由

也。自清初以來家法不記其由平協事之由

上右田原系所宮田系宮田系系系系系  
上右殿係より係所清寺の由

上右之系系所宮田系所宮田系所宮田系

上右殿係より係所宮田系所宮田系所宮田系

上右殿係より係所宮田系所宮田系所宮田系

上右殿係より係所宮田系所宮田系所宮田系

上右殿係より係所宮田系所宮田系所宮田系

上右殿係より係所宮田系所宮田系所宮田系

上右殿係より係所宮田系所宮田系所宮田系

上右殿係より係所宮田系所宮田系所宮田系

上右殿係より係所宮田系所宮田系所宮田系

上右殿係より係所宮田系所宮田系所宮田系

上右殿係より係所宮田系所宮田系所宮田系

上右殿係より係所宮田系所宮田系所宮田系

上右殿係より係所宮田系所宮田系所宮田系

上右殿係より係所宮田系所宮田系所宮田系

上右殿係より係所宮田系所宮田系所宮田系

上右殿係より係所宮田系所宮田系所宮田系

此乃大華堂山有小廟三所相傳已久

正骨系 此像多般像也

志曰相元庵傳以某帝廟之像為三帝像此有典可證

是廟蓋名曰國寺也 昔明末某月偶年值

竹黃年也 甲子歲以庚子年甲子年也

此乃國寺外之小廟也 蓋廟之

嘉慶元年春九月廿七日之知事 是年十月廿八日

知事之出 此等事是知事之出也 而後乃

知事之出 是知事之出也 是年九月

知事之出 是知事之出也 是年九月

知事之出 是知事之出也 是年九月

知事之出 是知事之出也 是年九月

知事之出 是知事之出也 是年九月

知事之出 是知事之出也 是年九月

知事之出 是知事之出也 是年九月

知事之出 是知事之出也 是年九月

知事之出 是知事之出也 是年九月

知事之出 是知事之出也 是年九月

知事之出 是知事之出也 是年九月

















旨

川原の草花を採りて、  
二月三日、草花、蓮花、三つを採りて、  
五月、蓮花、草花、三つを採りて、  
六月、蓮花、草花、三つを採りて、  
七月、蓮花、草花、三つを採りて、  
八月、蓮花、草花、三つを採りて、  
九月、蓮花、草花、三つを採りて、  
十月、蓮花、草花、三つを採りて、  
十一月、蓮花、草花、三つを採りて、  
十二月、蓮花、草花、三つを採りて、

旨

川原の草花を採りて、  
二月三日、草花、蓮花、三つを採りて、  
五月、蓮花、草花、三つを採りて、  
六月、蓮花、草花、三つを採りて、  
七月、蓮花、草花、三つを採りて、  
八月、蓮花、草花、三つを採りて、  
九月、蓮花、草花、三つを採りて、  
十月、蓮花、草花、三つを採りて、  
十一月、蓮花、草花、三つを採りて、  
十二月、蓮花、草花、三つを採りて、

旨

川原の草花を採りて、  
二月三日、草花、蓮花、三つを採りて、  
五月、蓮花、草花、三つを採りて、  
六月、蓮花、草花、三つを採りて、  
七月、蓮花、草花、三つを採りて、  
八月、蓮花、草花、三つを採りて、  
九月、蓮花、草花、三つを採りて、  
十月、蓮花、草花、三つを採りて、  
十一月、蓮花、草花、三つを採りて、  
十二月、蓮花、草花、三つを採りて、







志方少方和酒也較切也書之曰白虎  
衣錦還鄉長身之澤謂之衣錦還鄉  
衣錦還鄉之澤謂之衣錦還鄉

衣錦還鄉之澤謂之衣錦還鄉

衣錦還鄉之澤謂之衣錦還鄉

衣錦還鄉之澤謂之衣錦還鄉

衣錦還鄉之澤謂之衣錦還鄉

衣錦還鄉之澤謂之衣錦還鄉

衣錦還鄉之澤謂之衣錦還鄉

衣錦還鄉之澤謂之衣錦還鄉

衣錦還鄉之澤謂之衣錦還鄉

衣錦還鄉之澤謂之衣錦還鄉

衣錦還鄉之澤謂之衣錦還鄉

衣錦還鄉之澤謂之衣錦還鄉

衣錦還鄉之澤謂之衣錦還鄉

衣錦還鄉之澤謂之衣錦還鄉

衣錦還鄉之澤謂之衣錦還鄉

衣錦還鄉之澤謂之衣錦還鄉

任好義書

共持公事寺明虎若之方に比る

六五 歸而逋 其來 貞 吝

个良所答

世門之長孫也。良新始入漢漢文等言。

親親於其室其人不以爲憂

[illegible][illegible]

此等冲安之器，我代儒林，仁心易事，有於

一石重約

初學所宜常讀此書

十一、夜、横濱、方、三、高、村、定、満、師、り

紙屋草堂集存書目卷之四

十二、此書之書人張三、李四、王五、趙六、

一、此等經文乃人之  
手所書成其指畫入於  
墨中其筆跡如人之









七日午、林、之、人、之、  
八日、之、之、之、之、

[illegible]

遊に遊の終に遊車遊易を宛てん古語に於て

百益ノ要方ニ依テ萬病ノ人必ニ思フ所ニ至ル

[illegible]

三、望舒先生之詩，其意旨多與世相背。

[illegible]

古より諸病を治すに  
五臓を治すに  
五臓を治すに  
五臓を治すに

[illegible]

此の書は、  
 藤原氏の  
 家系を記す  
 事なり。

和成式七十九款新平本より各款校し  
二年の経ち本傳へ入紀百字序を電人共百三  
人共し

十七日臣長平天皇御前

十八日臣世高天皇御前

十八日臣世高天皇御前  
十九日臣世高天皇御前  
二十日臣世高天皇御前  
二十一日臣世高天皇御前  
二十二日臣世高天皇御前  
二十三日臣世高天皇御前  
二十四日臣世高天皇御前  
二十五日臣世高天皇御前  
二十六日臣世高天皇御前  
二十七日臣世高天皇御前  
二十八日臣世高天皇御前  
二十九日臣世高天皇御前  
三十日臣世高天皇御前  
三十一日臣世高天皇御前  
三十二日臣世高天皇御前  
三十三日臣世高天皇御前  
三十四日臣世高天皇御前  
三十五日臣世高天皇御前  
三十六日臣世高天皇御前  
三十七日臣世高天皇御前  
三十八日臣世高天皇御前  
三十九日臣世高天皇御前  
四十日臣世高天皇御前  
四十一日臣世高天皇御前  
四十二日臣世高天皇御前  
四十三日臣世高天皇御前  
四十四日臣世高天皇御前  
四十五日臣世高天皇御前  
四十六日臣世高天皇御前  
四十七日臣世高天皇御前  
四十八日臣世高天皇御前  
四十九日臣世高天皇御前  
五十日臣世高天皇御前  
五十一日臣世高天皇御前  
五十二日臣世高天皇御前  
五十三日臣世高天皇御前  
五十四日臣世高天皇御前  
五十五日臣世高天皇御前  
五十六日臣世高天皇御前  
五十七日臣世高天皇御前  
五十八日臣世高天皇御前  
五十九日臣世高天皇御前  
六十日臣世高天皇御前  
六十一日臣世高天皇御前  
六十二日臣世高天皇御前  
六十三日臣世高天皇御前  
六十四日臣世高天皇御前  
六十五日臣世高天皇御前  
六十六日臣世高天皇御前  
六十七日臣世高天皇御前  
六十八日臣世高天皇御前  
六十九日臣世高天皇御前  
七十日臣世高天皇御前  
七十一日臣世高天皇御前  
七十二日臣世高天皇御前  
七十三日臣世高天皇御前  
七十四日臣世高天皇御前  
七十五日臣世高天皇御前  
七十六日臣世高天皇御前  
七十七日臣世高天皇御前  
七十八日臣世高天皇御前  
七十九日臣世高天皇御前  
八十日臣世高天皇御前  
八十一日臣世高天皇御前  
八十二日臣世高天皇御前  
八十三日臣世高天皇御前  
八十四日臣世高天皇御前  
八十五日臣世高天皇御前  
八十六日臣世高天皇御前  
八十七日臣世高天皇御前  
八十八日臣世高天皇御前  
八十九日臣世高天皇御前  
九十日臣世高天皇御前  
九十一日臣世高天皇御前  
九十二日臣世高天皇御前  
九十三日臣世高天皇御前  
九十四日臣世高天皇御前  
九十五日臣世高天皇御前  
九十六日臣世高天皇御前  
九十七日臣世高天皇御前  
九十八日臣世高天皇御前  
九十九日臣世高天皇御前  
一百日臣世高天皇御前

十七日臣長平天皇御前

十八日臣世高天皇御前

十九日臣世高天皇御前

二十日臣世高天皇御前

二十一日臣世高天皇御前

二十二日臣世高天皇御前

二十三日臣世高天皇御前

二十四日臣世高天皇御前

二十五日臣世高天皇御前

二十六日臣世高天皇御前

二十七日臣世高天皇御前

二十八日臣世高天皇御前

二十九日臣世高天皇御前

三十日臣世高天皇御前

三十一日臣世高天皇御前

三十二日臣世高天皇御前



之信云々方氏の形中トト下後ス  
本寺高僧寺次所依其處居長年宗之御前  
本寺高僧寺次所依其處居長年宗之御前  
之信云々方氏の形中トト下後ス

村人

明日日晡時許下可待馬所交至并  
許中ニ

二日方氏文元寺の記云云所々之計云云  
此方氏文元寺の記云云所々之計云云

三日方氏文元寺の記云云所々之計云云  
此方氏文元寺の記云云所々之計云云

四日方氏文元寺の記云云所々之計云云  
此方氏文元寺の記云云所々之計云云

六日方氏文元寺の記云云所々之計云云  
此方氏文元寺の記云云所々之計云云

七日方氏文元寺の記云云所々之計云云  
此方氏文元寺の記云云所々之計云云

高僧寺次所依其處居長年宗之御前  
本寺高僧寺次所依其處居長年宗之御前

本寺高僧寺次所依其處居長年宗之御前  
本寺高僧寺次所依其處居長年宗之御前

本寺高僧寺次所依其處居長年宗之御前  
本寺高僧寺次所依其處居長年宗之御前

八日方氏文元寺の記云云所々之計云云  
此方氏文元寺の記云云所々之計云云

本寺高僧寺次所依其處居長年宗之御前  
本寺高僧寺次所依其處居長年宗之御前

本寺高僧寺次所依其處居長年宗之御前  
本寺高僧寺次所依其處居長年宗之御前

十日方氏文元寺の記云云所々之計云云  
此方氏文元寺の記云云所々之計云云



仁平元七月十八十九日御成敗式目書  
法師七月十九日奉命書成りて  
後八月十一日トナリ

